

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	のだ あきひろ		
氏名	野田 明宏		
所属	合同会社KISUI SEKKEI		
役職	代表社員		
活動エリア	東海・北陸など、全国		
連絡先	住所	〒 461-0001 愛知県名古屋市中区泉3丁目1-21 福島屋ビル 1階	
	電話番号		
	メールアドレス		
キャッチコピー	地域らしさを次世代に継承するため、ビジョン・チーム・まちづくり事業化をサポートします。		
自己PR	<p>地方都市の中心市街地再生や商店街再生、密集市街地の地域防災まちづくりなど。地域で暮らし・営む多様な方々との話し合いのコーディネートによる将来ビジョンの作成・共有と、アイデアベースから具体化に向けた事業企画構想、結果としての具体的な空間デザイン等のサポートを行っています。</p> <p>イベントのような一期間の集客や盛り上がりだけでなく、日常の生活風景をより豊かにするための場づくり、体制づくりを大切にしながら、プロジェクト化（プロセスをデザインすること）を目指し活動しています。</p> <p>主なプロジェクトとして、宮城県石巻市「COMICHI石巻」や名古屋市「ソーネOZONE」、富山県高岡市でのエリアリノベーション「ほんまちの家」「博労町まちかどサロン」「サカサカ」、福井市「コノジナガヤ」など。新築・リノベーション問わず、多様なメンバーとの協働による事業化のお手伝いを多く手がけています。</p>		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	KISUI SEKKEI HP	https://www.kisusekkei.co.jp	
	中心市街地活性化協議会支援センター／まちづくり事例／エリアリノベーションによる面的活性化(富山県高岡市)	https://machi.smrj.go.jp/machi/public/example/takaoka_202602.html	
	再開発研究(再開発コーディネーター協会)No34／石巻中心街・横丁を起点とした環境再構築	https://share.google/xxxxxKUVuRk07wJQUUC	
	名古屋ビジネス進出サポートサイト／大都市なのに地方都市 名古屋だから叶う 地域に溶け込む会社・働き方	https://nagoya-potential.jp/interview/kisui-sekkei/	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p>愛知県名古屋出身</p> <p>2006年 早稲田大学大学院理工学研究科 建築学専攻 修了</p> <p>2006年 株式会社象地域設計入社(～2013年3月)</p> <p>2013年 合同会社住まい・まちづくりデザインワークス参加(共同代表／2024年より単独代表／2025年に社名変更・本社名古屋に移転)</p> <p>2016年 早稲田大学都市・地域研究所招聘研究員(～現在)</p> <p>2016年 日本都市計画学会 計画設計賞 受賞(COMICHI石巻)</p> <p>2016年 東京建築士会 第2回「これからの建築士賞」受賞(COMICHI石巻)</p> <p>2019年 芝浦工業大学・早稲田大学 建築学科 非常勤講師(芝工～2024／早稲田～2023)</p> <p>2019年 愛知県 第26回愛知まちなみ建築賞受賞(ソーネおおぞね)</p> <p>2022年 川崎市景観アドバイザー(～2024)</p> <p>2022年 千葉大学 建築学コース 非常勤講師(～2023)</p> <p>2023年 (独)中小機構 中小企業アドバイザー(高度化事業・まちづくり／～現在)</p> <p>2023年 富山県 第54回富山県建築文化賞 優秀賞受賞(サカサカ)</p> <p>2024年 愛知工業大学 建築学科 非常勤講師(～現在)</p> <p>2025年 日本ナショナルトラスト 登録専門家(～現在)</p>		
3. 取組分野			
観光	()		
● 移住・定住・関係人口	(空き家再生まちづくり)		
農林水産業	()		
起業支援	()		
● まちなか再生	(中心市街地活性化／商店街まちづくり／共同建て替え、共同リノベーションによる連鎖的再生)		
● 集落再生	(歴史的資源を活用したまちづくり)		
環境	()		
その他	()		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)			

5. 取組内容・実績	
取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : GOMICHI石巻(松川横丁地区優良建築物等整備事業)</p> <p>(2)対象地 : 宮城県石巻市中央地区</p> <p>(3)事業目的 : 東日本大震災による被災から、小規模共同化による身の丈事業での再生</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>3.11により被災した石巻中心市街地の横丁沿いにおいて、4名の権利者によるコンパクトな共同化プロジェクト、1階にタウン・リターン、被災商店主向けの店舗、2・3階に従前居住者用住居2戸やシェアハウスを内包した複合建築物。最上階を木造とし、それ以外を鉄骨造とすることで、地業工事に掛かるコストを下げ、ボリュームが小さいながらも資金計画のバランスが取れる事業計画とした。事業推進コーディネーター、事業計画作成、権利変換計画、合意形成、基本・実施設計、工事監理、長期修繕計画作成を担当。</p> <p>(5)事業による成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横丁に面した1階部分は、被災前から店が少なくなってしまうが、本取組によりターン・リターン等による40代の出店者が現れ、横丁の賑わい再生の一助となっている。(店舗が継続できるよう、オーナー・床所有者として権利者や周辺まちづくり団体からの出資による、まちづくり会社「MYラボ」を新設) ・被災・復興時の石巻に関わった、多くのボランティア等へのヒアリングから、まちなかに欲しい機能・空間等を反映したシェアハウスを運営。10年経過したが、様々な人が入れ替わり入居し、まちと関わりを持ちながら暮らす場が継続できている。 ・GOMICHIの取り組みをきっかけに、周辺の店舗とも、横丁を盛り上げようという機運が上がり、共同で横丁にサインを新設したり、エリアマネジメント的な展開への波及も起こっている。
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : コノジナガヤ</p> <p>(2)対象地 : 福井県福井市</p> <p>(3)事業目的 : 福井駅近の新栄商店街の再生を目的とした、大規模な長屋建築のモデル改修</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>戦後にできたアーケード商店街の再生に向けたモデル長屋の一体リノベーションプロジェクト。4名の権利者からまちづくり会社「まちづくり福井」が建物を現場有志で借り受け、構造補強・インフラ更新・法適合化を行った上でサブリース+自主事業を展開。</p> <p>柱・梁・耐力壁の追加等による躯体補強による構造補強[積雪時lw値1.0以上]。また屋根の葺き替え・防水やりかえ・外壁改修、電気・ガス・給排水等のインフラ更新等の劣化修繕を実施。事業企画構想段階では、共同建て替えと共同リノベーションを比較検討できるよう、各々の条件面整理や、空間イメージ、長期収支計画を作り、事業推進を図ることができた下拵えをおこなった。</p> <p>事業計画作成、事業スキームの検討・提案、合意形成、基本・実施設計、工事監理を担当。</p> <p>(5)事業による成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長屋建築が連なり、雨漏りや漏電リスク、構造劣化などが起こりつつも、抜本的な解決が困難であった地域で、それらを解決できる改修・運営スキームを確立した。 ・周辺の再開発等により、立ち退きを迫られ、新築などでは家賃的に事業継続が困難なテナントの受け皿としても機能している。 ・まちづくり福井が自主事業として、シェアオフィス、シェアキッチン・ホールを行っており、シェアキッチンは直近の稼働率も70%を超え、日常や昼間の時間帯の本エリアの活性化にも寄与し、このエリアを訪れるきっかけを作っている。
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : サカサカ+まちなか地域での空き家再生</p> <p>(2)対象地 : 富山県高岡市</p> <p>(3)事業目的 : 空洞化してしまった、中心市街地を若者が楽しめる、住みたくなるまちへ変えていくプロジェクト</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>2013年より、地域の中小企業の代表や、伝統産業の担い手、大学生達が中心となり、中心市街地を楽しめるまち(おじさんが飲みに行く場所ではなく)に変えていくという取り組みの伴走支援。空家を改修したゲストハウスづくりの連続ワークショップによる企画づくりが始まり、13年で13件のリノベーションや調査・企画検討プロジェクトに従事。(高岡市まちなか再構築事業による、博労地区のエリア再生検討等含む)</p> <p>サカサカは400㎡ほどの間口長大・奥行狭小の戦前・戦後長屋を一体リノベーションし、共用部であるアウトドアリビングを内包する、小さな商店街としたプロジェクトである。(企画支援、基本・実施設計・工事監理を担当)繰り返された違法増改築状態から、減築や区画の再整理、各種設備の配置による建築基準法、消防法等の法適合化を行い、長年空家となっていた場所が「つどう」「つくる」「つなげる」まちかどへと生まれ変わった。</p> <p>(5)事業による成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サカサカは県道沿いで、バスも路面電車も通り、市民は誰しもが目にする場所にも関わらず空家となっていた場所が、日常的に明かりの灯る場に生まれ変わり、クラフト関係のイベント時にも会場の一つとして、地元民・観光客・移住希望者も集まり交錯する場となっている。 ・高岡での13年の取り組みについて、地域の中小企業者達が自らの事業とまちビジョンを重ねながら推進することで、まちなかエリアに大学生が住む場所や、気軽にご飯を食べに行ける場所、観光客がほっと一息つける場所、まちなかの雰囲気を感じながら宿泊できる場が次々と生まれ、集積するエリアへと生まれ変わりつつある。
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 : 旧高岡共立銀行活用検討</p> <p>(2)対象地 : 富山県高岡市</p> <p>(3)事業目的 : 歴史的建造物である銀行建築を官民連携による活用で再生</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>区画整理に伴い、市が取得した大正年間の銀行建築の活用を図るべく、①建物の現況調査②活用課題と、整備条件の整理③官民連携スキームの提案を実施。</p> <p>整備条件の一つとして、歴史的建造物を現行法に則りしっかりと活用できるよう、ハード整備のみでは困難な項目についてソフトでの代替策と合わせた整備が可能となる。建築基準法3条のその他条例の導入に関しても提言を行なった。</p> <p>その後、提言に基づき、2020年～高岡市により、耐震診断・保存活用計画の検討が行われることとなり、保存活用検討委員を受嘱。</p> <p>(5)事業による成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用を図るため、高岡市に建築基準法その他条例の制定、保存活用計画の制定、民間事業者へのサウンディング調査を提言し、その3点全てがその後実行された。 ・その後プロポーザルが行われ、2025年民間事業者を決定。2028年開業を目指し、計画が進められている。 ・また、3条その他条例の制定により、本建物のみでなく、指定文化財未達の歴史的建造物についても、柔軟な法解釈による活用の推進を図ることが可能となった。
<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼魚町地区共同再建プロジェクト(東日本大震災からの復興プロジェクト。区画整理・街区再編・共同化・買取公営住宅整備の事業計画作成) ・原町田中央通り沿道活用支援(道路・店前空間の有効活用による滞在時間確保。活用条件の整理・ガイドライン・第三者貸出スキーム・WEBデザイン担当) ・馬喰町まちかどサロン(高岡市まちなか再構築プロジェクトのモデルエリアである、博労地区において地域の方々の居場所(サロン)づくりを支援) ・ソネおおぞね・ゆいまーる大管根・ミッドムおおぞね(空洞化してしまった大規模団地をセーフティネット・ダイバーシティの場として再生) ・旧高岡共立銀行調査・活用検討(大正時代の銀行建築の現況調査+活用を可能とするための条件整理+官民連携スキームの検討) ・堤壺川町 空家活用プロジェクト(地元ゼネコンの新ビジネスとして、空家活用・まちづくり事業の方針検討支援+モデル改修物件の企画・設計を担当) ・尾壺市三木地区 事前復興まちづくり(南海トラフ地震で甚大な被害が予想されているエリアにおいて、日々の暮らし・コミュニティを守りながら、防災に強いまちへとするための活動支援、防災観光体験ツアーの企画・運営補助、空家調査・モデル物件改修の企画・設計を担当) ・彦根銀座防災建築街区等の再生検討(防災建築街区の現場調査・活用条件の整理・各種勉強会等実施のサポート) ・鳥取市中心市街地、若桜街道商店街 空き店舗活用等による活性化検討支援(空き店舗活用の課題等整理、モデル物件の活用検討等担当) 	